

実社会に興味をもたせ、「学び心」を引き出す導入 学習する内容を概観する「学習の前に」

p.27-28

第2部1章
学習の前に



私たちの暮らしと憲法の関係を見てみよう



やってみよう

「はるの市」では、市民がよりよい暮らしを実現できるよう、さまざまな取り組みが進められています。次の場面はイラスト内のア～カのどれにあたるか、()に記号を入れてみよう。

- ①自分の主張を記したピラを配っている。(→p.43) (**オ**)
- ②保育園で男性保育士が働いています。(→p.45～46) (**イ**)
- ③盲導犬を連れて歩いている人がいます。(→p.48) (**ウ**)
- ④段差を登れず困っている人がいます。(→p.48) (**カ**)
- ⑤税について相談している人がいます。(→p.54) (**エ**)
- ⑥選挙に立候補している人がいます。(→p.53) (**ア**)

各部の冒頭に、イラストの導入ページを設置しています。イラストを探すことで、その部で学習する内容をイメージできます。

原寸大

小学校との関連 憲法と私たちの生活

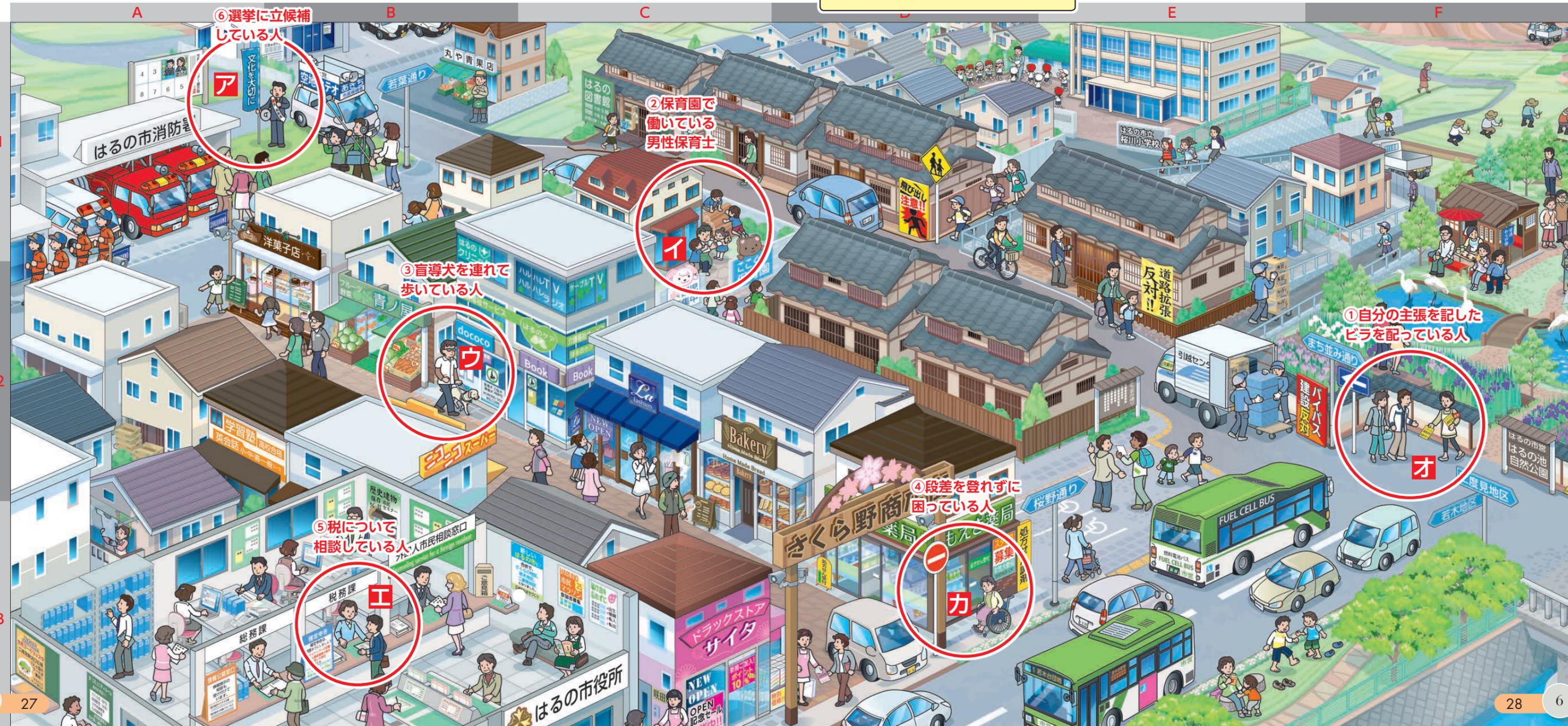
小学校で学習したように、私たちの暮らしのさまざまなまじりの大もとが日本国憲法です。日本

国民主権
国民が国の政治の在り方を決める
平和主義
戦争を放棄し、戦力を持たない
尊重
理由だけで持つべき権利

！ポイント
「やってみよう」の発問とイラスト中のア～カの記号をリンクさせ、重要な場面を読み取りやすくしています。

第2部1章を見よう

日本国憲法では、基本的人権(人権)について、多くの条文を設けています。イラストの例のように、自分の意見を自由に表現することや、選挙に立候補することなど、私たちが当たり前と思うことでも、憲法により人権として保障されています。そして、国や地方公共団体は具体的に人権が保障されるよう、取り組んでいます。第2部1章では、現代社会の政治を成り立たせている基本的な考え方や、それらを日本国憲法はどうか反映しているかを学習してみよう。



実社会に興味をもたせ、「学び心」を引き出す導入 学習する内容を概観する「学習の前に」

ポイント

現代社会単元の「学習の前に」で学べること

40年前と現代を比較し、社会の変化に気が付けるようにしています。

- ①少子高齢化 → **ウ ウ**
校庭にいる子どもの数が減少しています。
→教科書p.7-8
- ②情報化 → **ア ア**
公衆電話が減り、スマートフォンが使用されています。
→教科書p.3-4
- ③グローバル化 → **イ イ**
駅名の表示に英語が加わり、外国人への対応が進んでいます。
→教科書p.5-6

「学習の前に」掲載箇所一覧 (5テーマ)

部	分野	タイトル	教科書掲載ページ
第1部	現代社会	40年前と今の社会を比較してみよう	p.1-2
第2部	政治	私たちの暮らしと憲法の関係を見てみよう	p.27-28
		みんなが暮らしやすい社会をつかってみよう	p.65-66
第3部	経済	身の回りの暮らしと経済について見てみよう	p.107-108
第4部	国際	「持続可能な社会」を目指していくために	p.171-172

本資料 p.5-6

さくいんグリッド

地図帳のさくいん記号のように、記号を使って位置を伝えることができます。

本文との関連(アに関して)

●本文にある過去と現在を比較する内容を「学習の前に」のイラストでも確認できます。

情報化とは 友達と連絡を取るとき、かつては手紙や自宅の固定電話、公衆電話を利用するか、直接会うしかありませんでした。しかし、今の私たちは、スマートフォン1台で電話やメールだけでなく、ソーシャルメディアを利用した写真や動画のやり取りもできます。また、必要な情報の入手や、商品の購入や予約なども、インターネットを通じて簡単に行うことができます。

▶ p.3

●本文のページの下部に「学習の前に」を振り返る を設置しています。本文と関連付けることで本文の理解が深まります。

力(情報リテラシー)を養うことが、ますます：
p.1-2 「学習の前に」を振り返る ▶ 自動改札(D-1)。

▶ p.4

資料との関連(ウに関して)

「学習の前に」と関連した実社会の資料を、本文のページに掲載しています。



▶ p.7 ある中学校の全校生徒 生徒数の減少(少子化)が読み取れます。

第1部 学習の前に 40年前と今の社会を比較してみよう

やってみよう

「はるの市」の「二度見駅」周辺のまちなみは、この40年間で大きく変化しました。イラスト内のア～ウ、ア～ウは大きく変わった場所を表しています。次の場面はイラスト内のア～ウのどれにあたるか、()に記号を入れてみよう。

- ①少子高齢化(子どもの数が減少し高齢者の割合が増えていくこと)に関わる場面(→p.7~8) (**ウ**)
- ②情報化(情報を手に入れる手段が増えていくこと)に関わる場面(→p.3~4) (**ア**)
- ③グローバル化(外国との結び付きが深まっていくこと)に関わる場面(→p.5~6) (**イ**)

小学校との関連 現代社会と私たちの生活

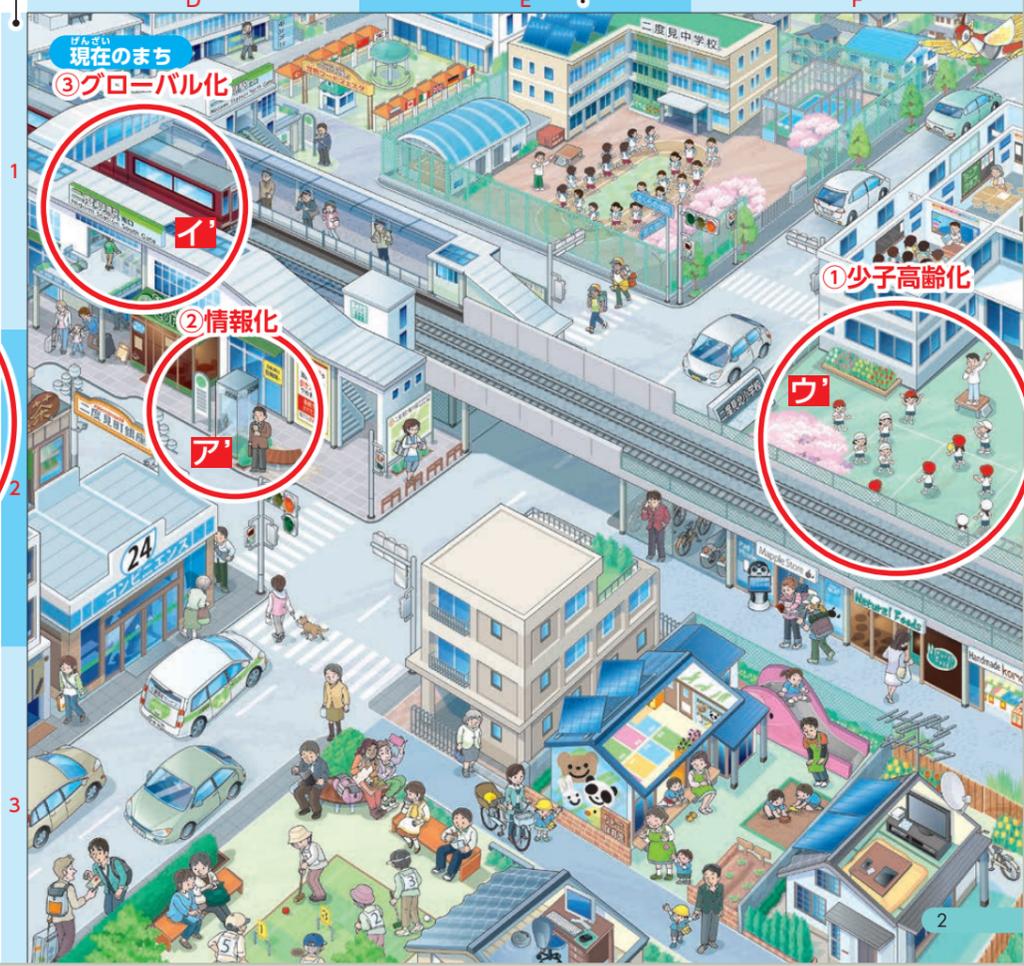
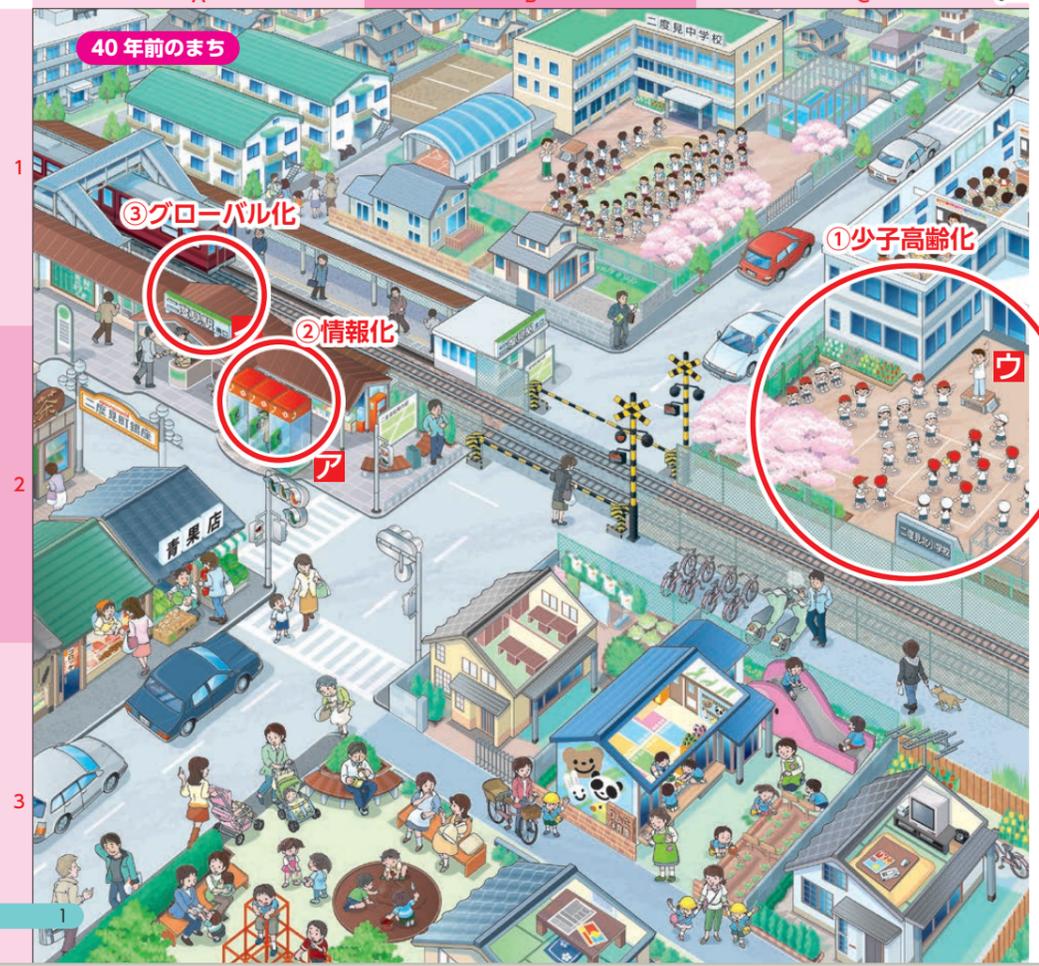
小学校で学習したように、現代の社会では、高齢者の割合が増える一方で子どもの数が減ったり、情報を手に入れる手段が増えたり、外国との結び付きが深まったりする変化が見られます。



外国人旅行者でにぎわう成田空港

第1部を見通そう

40年前、すなわち1980年代前半は昭和の終わり頃で、社会が大きく変わり始めた時代でした。今日では、将来にわたって成長・成熟していきけるような、新たな社会のしくみを考えていくことが求められています。第1部では、現代の日本の特色や、私たちの生活を形づくってきた文化の意義・影響を理解するとともに、現代社会をとらえる枠組みについて学習してみよう。

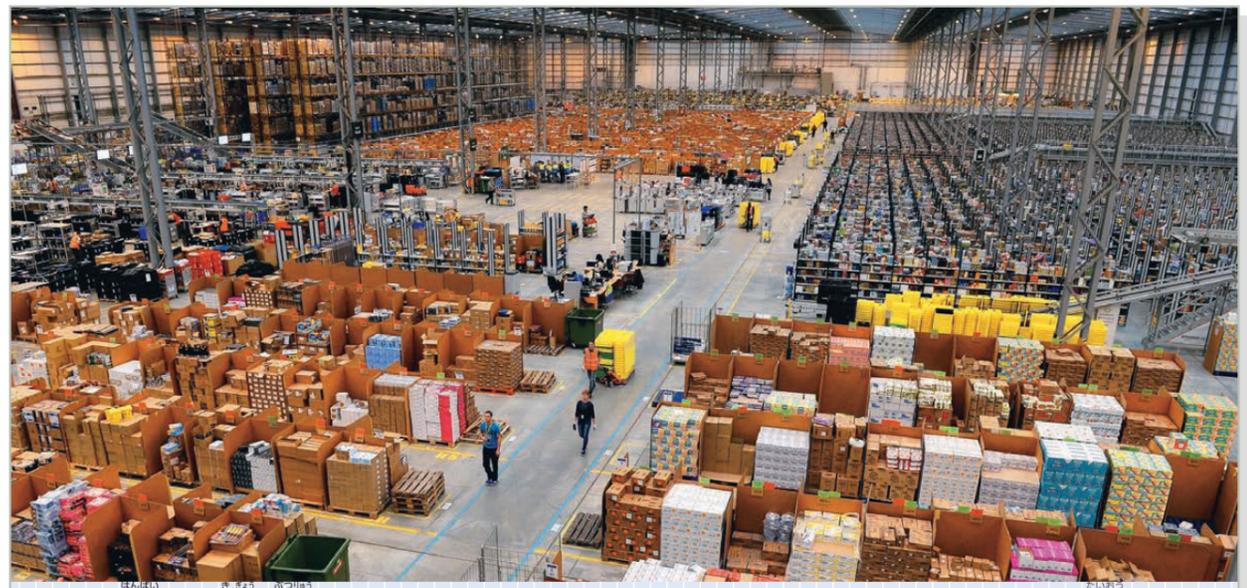


▶ p.1-2

特色 1 実社会に興味をもたせ、「学び心」を引き出す導入
臨場感のある導入資料

A 迫力のあるワイドな写真

▶ ネット通販の大規模な倉庫の様子から、驚きをもって流通の変化の学習につなげられます。 p.119



通信販売を行う企業の物流センター（イギリス） このセンターでは、インターネットを通じて世界各地からの注文に対応しています。
資料活用 …インターネットを利用した通信販売により、私たちの消費生活はどのように変化しているのだろうか。

▶ 同世代の子どもたちへの国連児童基金 (UNICEF) の活動から、親近感をもって国際連合の学習につなげられます。 p.177



通学かばんや文房具を受け取る子どもたち（アフガニスタン） 国連児童基金（ユニセフ）は国際連合の一機関で、児童（子ども）の権利に関する条約に基づき、子どもが健やかに育つ環境を確保するために世界中で活動しています。質の高い教育を広く確保することはSDGs（→p.195）の取り組みの一つです。
資料活用 …UNICEFは、どのような活動をしているのだろうか。

各見開きの導入資料は、迫力あるワイドな写真や生徒に身近な事例を取り扱うようにしています。実感がともなうため、本文の理解が容易になります。

B 学習内容を直感的に理解できるイラスト

▶ 保険証に関する身近な生活の一場面から、「自分事」として社会保障の学習につなげられます。 p.165



C 関連する身近な事例

▶ 身近な「アイスクリーム」の表示から、興味関心をもって消費者の学習につなげられます。 p.121



表示が異なる理由
私たちがふだん目にしてる「アイスクリーム」の表示には一定の基準があり、乳成分の量が多い順に、アイスクリーム、アイスマイルク、ラクトアيسの三つに分類されています。このような表示は法律を基に定められているもので、消費者が商品を選択するときの情報の一つとして役立てられています。

	乳固形分	うち乳脂肪分
アイスクリーム	15% 以上	8% 以上
アイスマイルク	10% 以上	3% 以上
ラクトアيس	3% 以上	—

資料活用 …なぜ写真の○部分の表示が異なるのだろうか。

「アイスクリーム」の表示（左）とその基準（上）